久御山の水辺と人をつなぐニュースレター
vol.03

KUMIYAMA MIZUBE NEWS LETTER

第3回 トライアル・ワークショップ を開催しました！

2025.03発行

■KUMIYAMA MIZUBE STATION PROJECT とは？

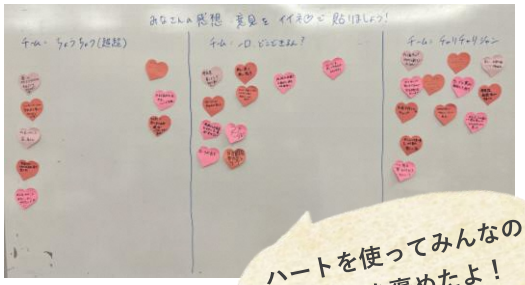
KUMIYAMA MIZUBE STATION PROJECT とは、久御山町が水辺を活かしたまちづくりの拠点をトライアル（みんながやってみたいことを実現する）しながらつくるプロジェクトです。

～全体の流れの話～

1．依藤さんによるお話
「東横堀川でのかわまちづくり」
2．自分たちのやってみたいことを考えよう！
3．みんなと意見交換

第３回開催概要

〈日時〉2025 年 3 月 10 日(月)
19：00～21：00
〈場所〉久御山町役場
〈参加者〉13 名



■依藤智子さんにご話題提供をいただきました！

水辺ラボの依藤さんから、大阪市の東横堀川でのかわまちづくりの取組についてお話していただきました。

1．私たちについて

依藤さんは、水辺まちづくりに取り組む水辺ラボの活動に参加し、かわまちづくりを支援しています。両団体は、川と町をつなげるために、行政と協力して地域を活性化するためのアイデアを提供しています。特に、東横堀川の活用方法に焦点を当て、地域の課題を解決するために様々な社会実験を実施しています。

2．東横堀川での取組について

東横堀川は、道頓堀や中之島をつなぐ重要な川ですが、高速道路に覆われ、町と川が分断されている現状です。東横堀川を使ったかわまちづくりは 2005 年から始まり、大阪商工会議所との協力を得て、市民活動が続けられてきました。地域の清掃活動やイベント開催、情報発信などの地道な努力が続いており、船着き場の開設など、少しずつ川の活用が進んでいます。また、β本町橋を中心とした新しい拠点作りも進行中です。

3．公民連家のまちづくりについて

水辺ラボは、公民連携を通じて水辺の魅力を引き出し、地域の生産者を支援しています。特に「東横堀川 ING」という社会実験により、地域住民や事業者が川を活用する新しい方法を模索しています。この取り組みでは、水上アクティビティやコミュニケーションの場づくり、エディブルパーク（食べられる公園）など、様々なチャレンジが行われています。これにより、地域が活性化し、新しい形の水辺の使い方が広がっています。

依藤さんのお話の様子

チーム：一口、どこで切るん？

自分たちのオリジナル久御山ストーリーを考えて、「プレ御柱祭」をやってみます！
地域の工場からもらった材料を使って、みんなでお神輿を作ったり、地元の野菜を使って炊き出しをしたり、久御山町の歴史や地域資源を活かし、みんなに久御山町を知ってもらいたいと思います！
ここから久御山町の新たな歴史を作ります！

チーム：ちょうちょう（超超）

「色」をテーマに、いろんなことをやってみます！
・ボディペイントを体全体でやってみる
・みんなと色水をかけあってみる
・みんなで大きな布に絵を描いてみる　など
普段できないことや怒られるようなことを、全力でできる場所にしていきます。
「それやっちゃう？」「やっちゃえ久御山！！」
まだまだアイデアを募集中！

チーム：チャリチャリジャン

自転車や SUP を使ってやってみます！
電車が通っていない久御山町で、新たなモビリティを作りたいと考えています。
普段よく使う自転車を修理するワークショップをやってみたり、水辺では水上を１つの道と考えて、将来は気軽に対岸へ渡れるようにしていきたいです！
実際に自分たちで、川で SUP にも挑戦しようと考えています！

【5 月にイベントを実施します！】

このワークショップの集大成として、みんなで考えたイベントを実現します！
このイベントに参加したい！イベントを一緒にやってみたい！アイデアを提供したい！
いろんな方の参加をお待ちしています！あなたはどのイベントに参加しますか？

〈発行〉KUMIYAMA MIZUBE STATION PROJECT 運営事務局
〈問い合わせ〉TEL :075-631-9961　E ﾒｰﾙ :kensetsu@town.kumiyama.lg.jp